

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年3月23日		記入者		連絡先	3257
平成18年度部名	土木部		課名	道路整備課		課長名 松本俊夫
平成19年度部名	土木部		課名		課長名	菊地勝実
事務事業名	魅力あるみちづくり事業					
予算上の事務事業名	魅力あるみちづくり(二本松地区)事業					
1 総合計画における位置づけ				施策コード	24120	
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして					
政策名	第4章 美しいまちなみと良好な居住環境を創造します					
基本施策名	第1節 魅力ある都市景観の形成					
施策名	第2施策 魅力ある都市空間の創造					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	道路法					
3 個別計画の概要				概要		
計画名				相原・二本松地区商店街振興計画の主要歩行者動線の整備として現況歩道部分のカラー舗装を行い、イメージアップを図る。		
計画年次	2	年度～	19	年度		
4 事業形態の区分	建築・整備・重要物品購入			5 事業開始年度	平成18年度	
6 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)					
商業地形成事業の近隣商業地に位置づけされている相原・二本松地区において、商店街振興計画の主要歩行者動線の整備を行い、良好な景観の形成とともに、安全で快適な歩行者空間の創出を図る。					(2) 対象(誰、何)	
					歩行者、自転車	
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
歩道整備延長 415m 道路幅員 11m (歩道両側 2m、車道 7m)						
平成18年度歩道整備延長 210m 平成19年度歩道整備延長 205m						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
8 事業費の推移 [単位:千円]						
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	0	0	18,365	17,500	0	
一般財源	0	0	18,365	17,500	0	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	0	0	2,415	2,415	0	
事業コスト合計	0	0	20,780	19,915	0	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	魅力あるみちづくり(二本松地区)事業			対象名称 と単位	整備延長(m)	
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	0	0	20,780	19,915	0	
対象数	0	0	210	205	0	
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	98,952	97,146	#DIV/0!	
前年度比		#DIV/0!	#DIV/0!	0.98	#DIV/0!	

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	歩道整備延長(m)	指標式と指標の説明	整備延長		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	210.0		
目標	0.0	0.0	210.0	205.0	0.0
目標達成度(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	延歩道整備延長率(%)	指標式と指標の説明	延整備延長 / 目標延整備延長 * 100		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	210.0		
目標	0.0	0.0	415.0	415.0	0.0
目標達成度(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	50.6		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性〔有・無〕					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[	] : 良好な状態を維持する事業			
	[	] : 概ね良好な状況である事業			
	[	] : 見直しを行う必要がある事業			
	[	] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		既整備済のその他の主要歩行者動線との連携が実現し、近隣商業地としての統一感が図られた。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
残りの主要歩行者動線区間について、引き続き歩道整備を進める。			事業目的の更なる達成のため、長期的な課題として歩道の拡幅及び路面排水の歩車分離等の根本的課題の解決が必要。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		・事業の実施及び内容について特に問題がなく、現状維持とする。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			